

Q 平成24年度予算編成における国保特別会計

A 適切な財政運営に努めたい（宗條住民課長）

収納率は現年課税分
93・77%、滞納繰越分
26・36%である。
医療給付費は前期高齢
者の占める割合が高まり
増加しているが、伸び率
は徐々に小さくなってい
る。この年齢層には、前
期高齢者交付金が交付さ
れ、退職者を受け入れる
国保が大きな負担増とな
らないよう財政調整がさ
れている。

少子高齢化の影響で
社会保障が財政危機と
なっている。
後期高齢者医療会計
に変わってからの国保
税の収納率はどうか。
また、医療給付費の増
加による影響は。

建設部門

Q 受迫溜池について

長年受迫ため池について質問をしてきたが、今まで明快な答弁がなかったため、この問題は一旦打ち切りとし、今後は全般的に社会通念を考えた質問に変えていきたいと考えている。

※回答を求めなかったため、発言の要旨のみ掲載。



南田秀夫議員

Q 里山道の有効利用について

A 今後も情報提供などに努めていきたい（木谷副町長）

①筆の里工房から赤穂
峠にかけて、ボランティア
の方々が里山道の整備
などをされており、工房
の来館者が足を伸ばす機
会も増えている。今後も
情報提供に努めたい。
②安芸3町森の街道協議
会（府中・海田・熊野町）
を立ち上げており、今後
も連携を密に行いたい。
③今後検討したい。
④小学校の社会科では身
近な地域を調べる学習が
あり、第四小では三石山
に登り学習している。

県の補助事業により、
城山を中心に稜線が伐採
されて展望が開け、歩き
やすい道になった。
①筆の里工房と里山をつ
ないではどうか。
②広域的なPRは。
③駐車場、ルート整備は。
④小学校の授業に里山登
山を取り入れてはどうか。



沖田ゆかり議員

Q 保育事業について

（育児休業中の保育の継続）

A 正規、非正規雇用にかかわらず
在職証明書の記載をもとに判断（清代民生部次長）

保育所の入所は児童福祉
法や町条例で定められ、基
本的には保護者の労働や疾
病などにより、保育するこ
とができない場合に入所が
認められている。
育児休業中は保育するこ
とができない状態ではない
と判断され、入所要件は満
たさないとされているが、熊
野町においては一定の条件
のもと、特に入所を認めて
きた。判断基準としては、
正規、非正規雇用にかかわ
らず、事業所が育児休業の
扱いとしているかどうか、
在職証明書の記載をもとに
判断している。

育児休業に係る子が満
1歳に達するまで、既に
入所している3歳以上の
幼児は継続して保育がで
きるが、在職の証明が必
要。非正規雇用の方など、
証明の取得が困難な方の
ために改善できないか。

Q 人工透析病院の誘致

A 透析病院の誘致は大変難しい課題である（三村町長）

①～③以前から透析病院
の誘致の必要性を認識し、
町有地を無償貸与する方向
性の下アプローチ等を行っ
ているが、周辺に透析病院
があることから大変難
しい課題である。
④各種サービスの実施状況
など、近隣市町と情報交換
を行っている。
⑤本町の人工透析者で通院
助成を受けている方は、平
成24年2月末時点で50人。
シャント手術については、
呉市や広島市内の総合病院
で実施されている。

町内に透析病院を誘致
して欲しいと考えるが、
①町有地を貸与する方向
性は。
②既存の透析病院誘致へ
のアプローチは。
③誘致の支援体制は。
④周辺行政との連携は。
⑤透析患者や透析前の
シャント手術等を行う近
隣の基幹病院の実態調査
は。



時光良造議員